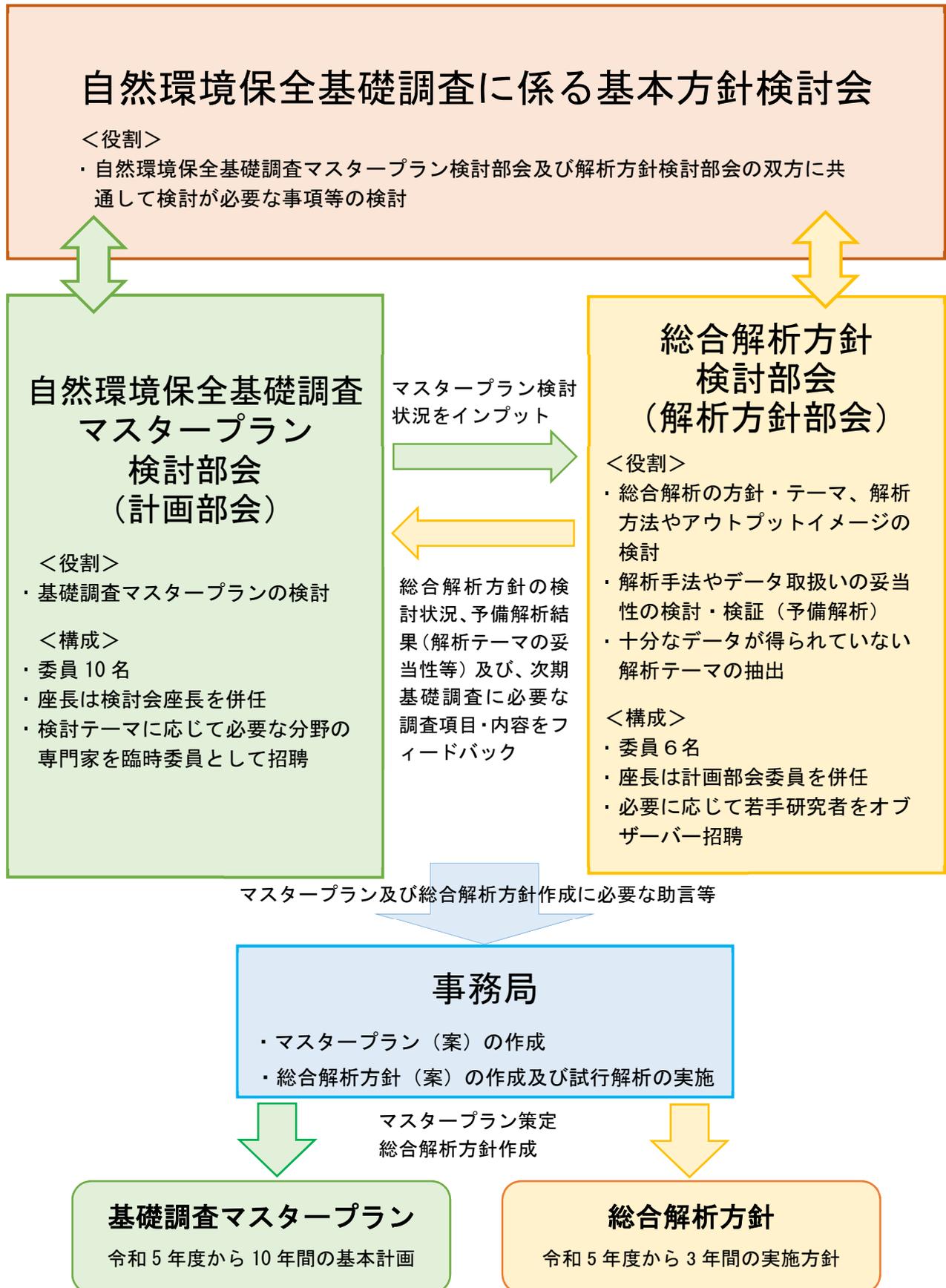


検討の進め方について

■ 検討体制



■ 委員構成

委員及び所属部会（五十音順）

氏名 (敬称略)	所属、役職	計画 部会	解析方針 部会
赤坂 宗光	東京農工大学農学研究院准教授		●
石井 信夫	東京女子大学名誉教授	●	
一ノ瀬 友博	慶応義塾大学環境情報学部教授		●
大澤 剛士	東京都立大学都市環境学部都市環境科学研究科・観光科学域准教授	●	
角谷 拓	国立環境研究所生物多様性領域生物多様性評価・予測研究室長		●
鎌田 磨人	徳島大学大学院社会産業理工学研究部・理工学域教授	●	
久保田 康裕	琉球大学理学部教授	●	
中静(浅野) 透	森林研究・整備機構理事長	●	
中村 太士	北海道大学大学院農学研究院教授	●	●
西廣 淳	国立環境研究所気候変動適応センター気候変動影響観測研究室長	●	
橋本 禅	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	●	
星野 義延	東京農工大学農学部功績教員（元東京農工大学大学院教授）	●	
三橋 弘宗	兵庫県立大学自然・環境科学研究所講師、兵庫県立人と自然の博物館主任研究員		●
望月 翔太	福島大学農学群食農学類准教授		●
山野 博哉	国立環境研究所生物多様性領域長	●	

■ 検討スケジュール及び検討事項

検討会/部会	自然環境保全基礎調査に係る基本方針検討会	
	計画部会	解析方針部会
第1回 (基本方針 検討会) R3年8月	【目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン及び総合解析方針の検討の主旨と枠組みについてご了承いただく。 ・ 基礎調査の現状と課題について、環境政策の近年の流れや既存の自然環境調査の中での立ち位置や、今後の検討を経て目指すべき基礎調査のアウトカムイメージについて認識を共有する。 ・ マスタープランに位置付ける次期基礎調査のあり方（求められる役割）及び、総合解析方針の基本的考え方（目的、対象とする範囲）等について議論する。 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎調査の現状と課題 ・ 各部会の役割（検討対象、検討事項）と2年間の検討の進め方 ・ 次期基礎調査のあり方 ・ 総合解析方針の基本的考え方 	
第2回 (個別部会)	R3年11～12月 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査計画－調査項目と優先度／調査精度 ※検討状況によっては2回開催	R3年9～10月 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解析の枠組（解析テーマと優先順位、解析内容・方法、対象スケール等） ・ 解析結果の活用・発信方法
第3回 (個別部会)	R4年度 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査計画－調査方法・体制／スケジュール 	R4年1～2月 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各解析項目で使用するデータ ・ 予備解析が必要な解析項目
第4回 (個別部会)	R4年度 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果の活用 <ol style="list-style-type: none"> i. データマネジメント ii. 中間評価／とりまとめ評価の方針 	R4年度 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予備解析結果の報告
第5回 (基本方針 検討会)	R4年度 【検討事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎調査マスタープラン（案）及び、総合解析の方針（案）の承認 	